

2018年度『電気使用安全月間』街頭キャンペーン

2018年8月1日(水)、福岡支部及び福岡中央事業所は、電気使用安全月間活動の一環として、JR博多駅博多口にある『賑わい交流空間：広報啓発空間』（博多口駅前広場）において合同による街頭キャンペーンを行いました。この日は大濠公園で、大濠花火大会が予定されており、花火を楽しみに浴衣姿で向かう人々、外国人旅行者、足早に通るビジネスマンや、夏休みに買い物を楽しむ親子連れなど、多種多様な人々の往来がある中、汗まみれになりながらも懸命にPR活動を行いました。

街頭キャンペーンは、支部長を始め、支部より24名（事業部：6名、営業部：5名、技術部：13名）、福岡中央事業所より27名の合計51名が参加し、配布班と準備班に分かれ、連携して抜群のチームワークでPR活動が出来ました。



<熱心に説明をしている松野支部長>

電気使用及び安全について、明るく熱心に説明をする松野支部長の話には、楽しそうに耳を傾けるお客さま。

(写真左)

<福岡支部営業部 武藤部長>

広場を歩きかう人々に、電気使用及び安全を優しく丁寧に伝える武藤部長。

足を止めて、武藤部長の話を真剣に聞くお客さま。(写真右)



<福岡支部技術部技術G 野間技術員>

若いお客さまも、技術部のイケメンお兄さんの話に笑顔で耳を傾けていました。

(写真左)



時間いっぱい、懸命にPR活動を行なった総勢50名です。(写真下：写真撮影者除く)

PR活動に参加されました方々、また緊急事態に備え事務所を守られていた職員の皆さん、大変お疲れ様でした。(写真右)



記事・写真：高松